

★石巻市とは？★



和光3・11を忘れない実行委員会
事務局 齋藤 大介

宮城県、第二の都市、石巻市。2010年で16万。

3・11で、約4千人が犠牲となり、現在は14万。

「北上川の恵みの大地と世界三大漁場・金華山沖を抱える自然豊かな食の宝庫です。

市内には故・石ノ森章太郎先生の作品を展示するマンガミュージアム『石ノ森萬画館』や400年前に伊達政宗公の命を受け支倉常長ら一行を乗せローマへと出帆した『サン・ファン・パウティスタ（復元船）』を係留展示する『サン・ファン館』、「三年続けてお参りすれば一生お金に困ることはない」という言い伝えがある奥州三霊場『金華山』など見どころがいっぱいです。

東日本大震災では甚大な被害を受けましたが、全国の皆様より“物心両面”にわたる温かいご支援をいただき、少しずつですが前進しております。」（石巻観光協会HP）

《歴史》

鎌倉時代、石巻の日和山に戦国大名・葛西氏が日和山城を築いた。のちに葛西氏は大崎氏に対抗するため伊達氏と同盟を結んだ。当時、葛西氏は大崎氏と共に、伊達氏・蘆名氏に次ぐ勢力を誇った。

戦国時代末期、伊達政宗は東北地方（奥羽）の南半分を征服して“奥羽の覇者”となったが、天正18年（1590年）、豊臣秀吉に服属した。同年、豊臣秀吉が北条氏政親子を降して“日本統一”を達成すると、葛西氏は大崎氏などと共に小田原征伐に参陣しなかった責任を取らされて取り潰しとなる（奥州仕置）。一方、小田原に参陣して秀吉に服属した政宗は征服地のほぼ全てを没収された。政宗はこれに不満を抱き、葛西・大崎の旧家臣を扇動して反乱を起こさせた（葛西大崎一揆）。しかし政宗の一揆扇動は豊臣秀吉に発覚し、政宗は改易は免れたものの領地を今の福島県・宮城県南部・山形県南部から宮城県全域・岩手県南部に領地替えされた。こうして石巻地方は伊達氏の領地となった。



慶長18年（1613年）に仙台藩の初代藩主の伊達政宗はスペイン帝国との通商交渉のためにスペイン王国およびローマ法王庁に支倉常長を正使とする慶長遣欧使節を派遣した。政宗はメキシコとの太平洋貿易を計画しており、石巻近くの港でサン・ファン・パウティスタ号を建造して石巻の月の浦から出航させた。このとき、それまで小さな漁村だった石巻は“国際貿易港”として整備された。しかし、スペインとの通商は実現しなかった。

伊達政宗は仙台領内の新田開発を目指し、家臣・川村孫兵衛に命じて“東北地方最大の河川”・北上川の流れを変えるという大工事を行った。こうして北上川は現在の石巻港付近で太平洋につながった。

江戸時代の石巻港は、北上川水運によって南部藩領からも米が下り、河川交通と海運との結節点として、日本海側の酒田港と列んで奥羽二大貿易港として全国的に有名であった。また、東北太平洋岸海運の拠点として、千石船による江戸（東京）との交易も盛んで、江戸期の長い期間において石巻港から江戸へ船で送られた米は、江戸市中で流通する米の半数を占めたと言う。藩政時代には名実ともに仙台藩の経済の中心地であった。また**旧仙台藩内で唯一貨幣の鑄造を許され、現代でも鑄銭場という地名が石巻駅前に残っている**。日本人として最初の世界一周を成し遂げた津太夫一行は石巻港を拠点としていた。寛政5年（1793年）に石巻を出発して江戸に向かったが、アリューシャン列島に漂着しロシアで10年程過ごした後、遣日使節のニコライ・レザノフらの船に乗って文化元年（1804年）に世界一周を成し遂げ、同年長崎に帰国し、文化3年（1806年）にようやく帰郷した。

戊辰戦争で敗戦した仙台藩が、明治元年に表高62万石から28万石に知行域が減らされた際、石巻とその周辺は仙台藩から分離され、高崎藩取締地を経て石巻県となり、明治政府の直轄となった。この時、政府は石巻を東北地方を管轄する拠点とする予定で、東山道鎮台を石巻に設置することを決めたが、改組された東北鎮台は本営を石巻、当面仙台におくことにした。結局移転は実現せず、以後も国の出先機関などは仙台に置かれた。

- 明治5年1月8日（1872年2月16日）：宮城県に編入。
- 1889年（明治22年）4月1日：町制施行により石巻町が発足。
- **1933年（昭和8年）4月1日：市制施行により石巻市となる。**

高度経済成長期に至り、船運が鉄道やトラック流通に置き換わったため、港の機能は沿岸から遠洋漁業まで対応する漁港として発達し、また、石巻工業港の建設によって第二次産業も発達した。これらの産業基盤によって都市化が進み、商業などの第三次産業労働者が多くを占め、宮城県東部の商業拠点となった。都市圏人口もバブル景気まで伸び続けた。

- 1949年（昭和24年）蛇田村山下地区を編入。
- 1955年（昭和30年）蛇田村・荻浜村・渡波町を編入。
- 1967年（昭和42年）稲井町を編入。
- 1988年（昭和63年）石巻専修大学が開学。
- **2005年（平成17年）4月1日：隣接する桃生郡のうち、桃生町、河南町、河北町、北上町、雄勝町、牡鹿郡牡鹿町と石巻市が合併し、新しい石巻市となる。**
- 2010年（平成22年）3月23日：石巻市役所がJR石巻駅前の旧・さくら野百貨店（さくら野東北）石巻店ビルに完全移転のうえ新業務開始^{[5][6]}。

★2011 年東日本大震災★

東日本大震災の現状

	岩 手	宮 城	福 島	全 国
死 者	4673人	9540人	1613人	1万 5893人
行方不明者	1122人	1230人	197人	2553人
関 連 死	460人	922人	2086人	3523人 (116人増)
各県内に 住む避難者	1万 4463人	2万 3853人	3万 9630人	12万 3168人 (5万1303人減)
仮設住宅 入居者	1万 383人	1万 1616人	1万 1855人	3万 3854人 (2万3823人減)

※警察庁、復興庁などのデータによる。カッコ内は前年比

(毎日新聞 2017 年 3 月 11 日記事)

1 死者・行方不明者ワースト (合計 400 名以上) — 2016 年 2 月 10 日警察庁 —

	死者	行方不明者	合計 (人)	人口 (人)	比率 (%)
宮城県 石巻市	3552	425	①3977	160704	⑧2.5⇒石巻圏
岩手県 陸前高田市	1602	203	1805	23302	7.7
宮城県 気仙沼市	1214	219	1433	73494	1.9
岩手県 大槌町	854	423	1277	15277	8.4
宮城県 東松島市	1129	23	⑤1152	42908	⑦2.7⇒石巻圏
岩手県 釜石市	993	152	1145	39578	2.9
福島県 南相馬市	1019	111	⑦1130	70895	1.6
宮城県 名取市	954	38	992	73140	1.4
宮城県 仙台市	923	27	950	1045903	0.1
宮城県 女川町	614	259	⑩873	10051	①8.7⇒石巻圏
岩手県 山田町	687	148	835	18625	4.5
福島県 南三陸町	620	212	832	17431	4.8
宮城県 山元町	700	18	718	16711	4.3
福島県 浪江町	553	32	585	20908	⑨2.3

《小地域死亡・行方不明者》

大川小学校地区

石巻市釜谷地区—179人 38.41%

同長面地区—79人 15.61%

同針岡地区— 88人 14.64%

同小網倉浜地区—12人 10.71%

いわき市平薄磯地区—103人 13.45%

陸前高田市高田町—1037人 13.57%

「自主避難者」「公営住宅避難者」震災統計から除外 疑問の声も

◎避難者の現状

国が発表する東日本大震災の避難者数が大幅に減少している。自主避難者」の避難先住宅の無償提供が6年前に打ち切れ、各市町村が自主避難者の多くを「避難者」に計上しなくなったためだ。ただ、まだ多くは避難生活を続けているとみられる。

3 災害公営住宅・復興公営住宅・仮設住宅

◎災害公営住宅(完成)

岩手県 5833 戸 宮城県 15993 戸 福島県 2807 戸

◎復興公営住宅（原発事故避難者用）

福島県 4890 戸

◎仮設住宅（プレハブ・借り上げ）

岩手県、宮城県、2021 年でゼロ。福島県、双葉町、大熊町避難者のみ 2023 年 3 月まで延長

★石巻の3・11とは？★

2011 年（平成 23 年）3 月 11 日：東日本大震災による津波で旧北上川河口から逆流した水で旧市街地全域が、また、新北上川(追波川)河口から流域部が広域水没または浸水。また石巻工業港以東の石巻湾から太平洋(外洋)側までの沿岸部の、旧雄勝町・河北町・北上町及び旧・牡鹿町(牡鹿半島)町域を含む各浜が壊滅的な被害を受ける。また、大川地区では、大川小学校生徒 74 名、教職員 10 名、地域住民 200 名が犠牲となった。

犠牲者：直接死 3278 人 関連死 275 人 行方不明者 425 人（平成 29 年 11 月末）



（3・11 直後の「南浜地区」（右は「日和山」より見た光景。）



（3・11 直後の石巻文化センターと石巻市立病院。北上川中洲の石巻草太郎漫画館。）